

事業所名 (医)青志会 11ヶ所 17ヶ所

作成日: 令和3年2月10日

目標達成計画

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No. 6	身体拘束について学ぶ機会を設けていないが、 未だ勉強不足の所があり、主治医・ご家族様とご 相談の上、やりを得意、身体拘束にあたるかもしれ ないところを調べている。	身体拘束適正化検討委員会において 代替方法を見つける、もしくは時間の短 縮を行う、よりよいケアを目指す。	日々の申し送りや気づきと話し合いと共に 3ヶ月に1回、身体拘束適正化検討委員会 を行い、記録を残し、代替方法を採り、 実践する。又は、時間の短縮を検討し 身体拘束をしないケアを目指す。	12か月
X		代替方法や時間の短縮等、身体拘束とし ないケアを目指していく必要がある。			か月
2	No. 35	現在、災害備蓄品 3日分の用意のみである。 5日分の用意が出来ていない。 栄養調整食品(Xイバンスミン)と水(かんのど 食品も検討する。	5日分の用意を行い、ご利用者様が 食べやすい食品を検討し、 備蓄品の量、種類を増やす。	災害備蓄品の見直しを行い、5日分の量を確 保する。ご利用者様が食べやすい食品の 検討を行い、備蓄品の種類を増やす。	12か月
X					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。